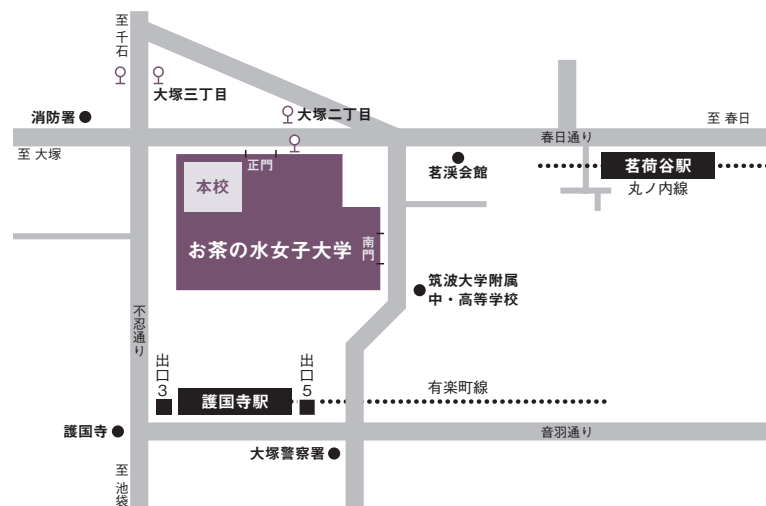


ACCESS



地下鉄	東京メトロ 丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩約6分 東京メトロ 有楽町線「護国寺」駅より徒歩約13分
都バス	「大塚二丁目」停留所下車 徒歩約1分 【都02系統】大塚駅～錦糸町駅 【都02乙系統】池袋駅東口～東京ドームシティ 「大塚三丁目」停留所下車 徒歩約3分 【上58系統】早稲田～上野松坂屋



お茶の水女子大学附属高等学校

<https://www.fz.ocha.ac.jp/fk/>

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
TEL 03-5978-5856[教員室] 03-5978-5855[事務室]
FAX 03-5978-5858



お茶の水女子大学
附属高等学校

Ochanomizu University Senior High School

生徒一人ひとりの個性が きらめく高校



本校の生徒たちは皆、自分自身をしっかりと持っています。人に流されて自分を変えることはありません——それは、このお茶高が互いの個性を認め合える場であるからです。皆が常に本音でぶつかり合い、友情を深めてゆける環境は女子校だからこそ、いや、このお茶高ならではのものです。だからこそ、お茶高の生徒たちは、一人ひとりが輝いているのです。

基本方針 Basic Policy

お茶の水女子大学に附属した高等学校であることの特徴を生かし、社会に有為な教養高い女子の育成に努める。

教育目標 Educational Goal（グラデュエーション・ポリシー）

1. 基礎・基本を重視し、広い視野と確かな見方・考え方を持つ生徒を育てる。
2. 自主・自律の精神を備え、他者と協働していくことのできる生徒を育てる。
3. 社会に有為な教養高い女性を目指し、真摯に努力する生徒を育てる。

校歌 School Song

みがかずば 玉もかがみも なにかせん
学びの道も かくこそありけれ

昭憲皇后 御歌
東儀 季熙 原曲



明治8年(1875)に昭憲皇后より東京女子師範学校に賜った御歌「みがかずば」に、式部寮雅楽課の伶人 東儀季熙が節をつけたものを原曲としています。この日本で最も古い校歌は明治29年(1896)に現在の旋律に改められ、大学・附属校園共通の校歌として歌い継がれています。

基本方針／教育目標／校歌	P.02
沿革／校章	P.03
教育課程・教科	P.05
高校・大学の連携	P.07
科学の力で未来を共創する 女性リーダーの育成	P.08
年間行事	P.09
部活動	P.11
卒業生からのメッセージ	P.12
Q & A	P.13

140年を超える伝統と知を継承し、 新たな未来をしなやかに創造する 女性を育成します。

沿革 History

1872年(明治 5)	2月	本校の前身の官立女学校 [※] 開設。立地より「竹橋女学校」「竹平女学校」と通称される。 ※ 文部省直轄の女子のための英語学校、のちに東京女学校と改称
1877年(明治10)		東京女学校閉鎖。東京女子師範学校に英学科が置かれ、在学を受け入れる。
1882年(明治15)	7月	東京女子師範学校附属高等女学校となる。
1886年(明治19)	6月	東京高等女学校として独立する。
1887年(明治20)	10月	官制の改定により文部省直轄学校となる。
1890年(明治23)	3月	女子高等師範学校附属高等女学校となる。校舎を本郷区湯島3丁目の女子高等師範学校内に移転。 立地より「お茶の水の女学校」「お茶の水」と通称される。
1908年(明治41)	4月	東京女子高等師範学校附属高等女学校と改称。
1923年(大正12)	9月	関東大震災にて校舎焼失。
1935年(昭和10)	3月	現校舎竣工、お茶の水より移転。
1948年(昭和23)	4月	新制附属高等学校(女子のみ)となる。
1952年(昭和27)	4月	お茶の水女子大学文教育学部附属高等学校となる。
1980年(昭和55)	4月	お茶の水女子大学附属高等学校となる。
1982年(昭和57)	11月	創立100周年記念式典を行う。
1992年(平成 4)	12月	創立110周年記念式典を行う。
2002年(平成14)	11月	創立120周年記念式典を行う。
2004年(平成16)	4月	国立大学法人お茶の水女子大学附属高等学校となる。
2012年(平成24)	11月	創立130周年記念式典を行う。
2014年(平成26)	4月	スーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受ける。(2019年3月まで)
2019年(平成31)	4月	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受ける。(2024年3月まで)
2019年(令和元年)	6月	校舎改修を行う。(10月完了)
2022年(令和 4)	11月	創立140周年
2024年(令和 6)	4月	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)第Ⅱ期の指定を受ける。(2029年3月まで)

校章

School Emblem



明治39年(1906) 6月より、袴紐のうえに締める博多織のベルトのバックルに、徽章として着用されました。昭憲皇太后より東京女子師範学校に賜った御歌^{みうた}「みがかずば玉もかがみも」にちなみ、八稜鏡^{はちりょうきやう}の形をなしています。

図柄は菊の花に蘭の花と葉をあしらったもので、「秀蘭芳菊君子を思う」という古語に基づき、その高潔な美しさが立派な人に似ていることを表しています。

自主自律の精神

女子だけの和やかかつ率直で活気に満ちた雰囲気の中、生徒たちは自主自律の精神を学びながら、学業だけでなく、学校行事や部活動にも積極的に取り組んでいます。卒業生たちも、本校で培った自主自律の精神を社会の各分野で発揮し、活躍しています。

360の輝く個性

本校は、国立の高等学校の中で唯一の女子高校です。個性化、多様化が叫ばれる今日、教育の多様な選択肢の一つとして本校の存在があります。全校生徒360名という小規模校の特性を生かし、生徒一人ひとりがさまざまな場面で個性を発揮し、その能力を開花させています。

知の継承と創造

創立140年を超える伝統の上に築かれた知的資源を継承しつつ、現代を見つめ、これからの社会で力を発揮できる女性の育成を目指します。留学生の受け入れや、海外の高校生との交流も行っており、国際的な視野を広げます。

力を発揮できる女性の育成を目指します。

教科の特色

論理的思考力の育成や主体的で対話的な深い学びを重視した授業を行っています。読むこと・書くこと・聞くこと・話すことの4技能を通して、伝えあう力を高め、心情を豊かにすることも授業のねらいとしています。

皆さんが毎日暮らしている日本の社会はどのようにしてできてきたのか考えたことがありますか？日本史の授業は、史料や図像、映像資料等を通して、皆さん自身が謎を見つけ、答えを探していく機会にしていきたいです。

歴史という過去に問かけることは、現在、そして未来を考えることにつながります。世界とその中の日本の歴史を俯瞰的に学びつつ、現在そして未来を考えていきましょう。

私たち人間の生活と自然環境は、どのように結びついているのでしょうか。世界の諸地域や課題を学びながら、グローバル化する国際社会に生きる市民として、持続可能な社会を探究しましょう。

A group of students in a classroom are working on a project. One student is using a calculator, while others are looking at papers or writing. They are all focused on their work.

2 年次には公共、3 年次には選
択で倫理、政治・経済の授業を
行います。日本や世界の現状、そ
して人間や社会についてこれま
でどのような考え方が示されて
きたのかを学び、現代の諸課題
について考えます。

A student in a white shirt is writing on a chalkboard. The board contains mathematical formulas, including $\lambda = -3$ and $\chi = \log_2\left(\frac{1}{f}\right)$.

基礎・基本の深い理解とそれを土台に自ら考えることを重視した授業を展開します。数学の世界の美しさ、面白さを学び、さらに数学を生活や社会、自然科学へと応用できる力の育成を目指します。

法則や公式がたくさんあって物理は複雑だと思っていますか？これらは人類の最先端の英知が凝縮されたもので、科学や自然の現象を説明し、過去や未来を知ることができるツールです。物理を学んで、未来を想像・創造してみましょう。

A photograph showing two female students in white lab coats working in a chemistry laboratory. They are standing at a lab bench, focused on their work. The background shows other lab equipment and a student working at another bench.

1年生は全員必修で、21世紀に生きる現代人の基礎教養としての化学を、3年生生では選択で、将来専門に自然科学分野で勉強する人の基礎として化学を学びます。多くの実験をとおして、ミクロな物質世界を探究しましょう。

A photograph showing several students in a science classroom, wearing face masks and using microscopes at their desks.

地球上には数千万種の生物がいて、多様な特徴をもっています。理解が難しい不思議な特徴も多いですが、実はひとつひとつに意味があり、大切な役割を担っています。生命はどのようにして成り立っているのか考えていきましょう。

音声を中心に英語の基礎固めを行っています。テキストの内容を、教員が英語で説明するだけでなく、生徒自らがその内容や自分の考えを英語で表現する機会もあります。「聞く・読む・話す・書く」の技能を十分に伸ばせます。

A group of students in a gymnasium practicing a dance routine. They are wearing white t-shirts and blue shorts, and are in various poses, some with arms raised and legs bent. The gym has a wooden floor and large windows in the background.

保健では、健康の保持増進を図るために必要な基礎知識を理解し、多様な健康課題を複眼的に追究する能力を養います。体育では、楽しく合理的に仲間と共に身体を動かす方法を学び、自律的・積極的に取り組む姿勢を養います。

音楽・美術・書道の中から選択します。音楽は歌唱や器楽、鑑賞を通して表現のあり方を学び、美術は絵画や映像、工芸などの中で視覚的表現と造形の技法を学びます。書道は創造的な制作を通して書を愛好し、表現と伝統を学びます。

生きていること全てが家庭科に繋がっています。生活する力がつくと、自分の事から世界の事まで、見えるものが広がっていきます。少人数での多くの実習も交え、身体と頭を使いながら、答えが一つではない諸問題を考えます。

社会生活の幅広い領域で、情報を整理して新たな意味を与える情報創造能力を身につけるなど変化・発展し続ける情報社会を生きるための自己学習力、データサイエンスやプログラミングの技術と駆使した問題解決の手法を学びます。

1年次の「課題研究入門」「課題研究Ⅰ」では科学的な探究の知識・技能を体験的に学びます。2・3年次の「課題研究Ⅱ・Ⅲ」ではそれを活用して自ら設定したテーマにそって課題研究を行い、思考力・協働性・課題解決力を養います。

3年間の様々な学習活動で得た知識・技能を協働的な学びで統合します。社会課題や合意形成が難しい課題を多角的な視点で捉え、科学的根拠に基づいた議論を通じて価値判断・意思決定する力を培います。

高校・大学の連携

お茶の水女子大学との高大連携特別教育プログラム

授業や進路指導を中心に、お茶の水女子大学との連携事業が行われています。

課題研究入門

生徒の探究活動における課題設定や望ましいキャリア形成に資するよう、1年次のSSH学校設定教科「課題研究」に設定された学校設定科目です。アカデミックガイダンス（探究方法の学び）とキャリア教育を融合した科目であり、さまざまな分野で、「問いを立てる」ことをテーマとして授業が行われます。具体的には、お茶の水女子大学文教育学部・理学部・生活科学部・共創工学部の大学教員が出前講義を行います。

附属高校生向けキャリア・ガイダンス

1年生全員を対象に、お茶の水女子大学の各学科・講座・コースを訪問し、大学の先生のお話をうかがったり実験の見学をしたりします。お茶の水女子大学にはない医学、薬学、法学などの学問分野についても、専門の先生からお話をうかがうことができます。高校までの授業にはない分野を含め、さまざまな学問分野に触れることにより、進路選択に対する視野を広げ、大学における学問研究のあり方を学びます。

附属高校生向け公開授業

2・3年生の希望者が放課後の時間を利用して、大学の講義を履修・聴講できる制度です。履修の場合、試験・レポート等は大学生と同様に課され、評価を受けます。高校の単位にはなりませんが、修了証を授与され、お茶の水女子大学に進学した際には、入学後の申請によって大学の単位として認定されます。参加登録料は年間1,000円で、何科目でも受講可としています。

大学の教員による指導

「課題研究入門」の他にも大学教員による出張授業が随時行われています。また、特に3年生の「課題研究Ⅲ」では、高校では実施できない実験を、大学の先生方のご指導の下、大学の研究室にて実施することができます。

SSH指定女子高校等との連携

お茶の水女子大学では、2014年より関東のSSHに指定された公立女子高校等における課題研究を支援するため、8月に本学の研究室において、数学・物理・化学・生物・情報科学・生活工学の実習を、3月には課題研究発表会を開催しています。本校も2019年にSSHに指定されたことを機に、この連携に参加し、生徒は課題研究のスキルを身につけるとともに、大学の教員や他校の生徒との交流を通じて、理数分野への関心を深めています。



他大学との高大連携教育

東京科学大学

女子高校生対象オープンキャンパス「一日体験入学」への参加などを行っています。

京都大学

京都大学高大連携ネットワーク事業による「京都大学サマープログラム」「京都大学ポスターセッション」への参加などを行っています。

グローバルサイエンスキャンパス

各大学の公募による高大連携事業で、過去に東京大学、東京農工大学、埼玉大学、宇都宮大学などに参加しています。

科学の力で未来を共創する女性リーダーの育成

確かな学力、豊かな教養を土台に、科学的な素養や科学的探究力を備え、他者と未来を共創していく女性リーダーを育てています。

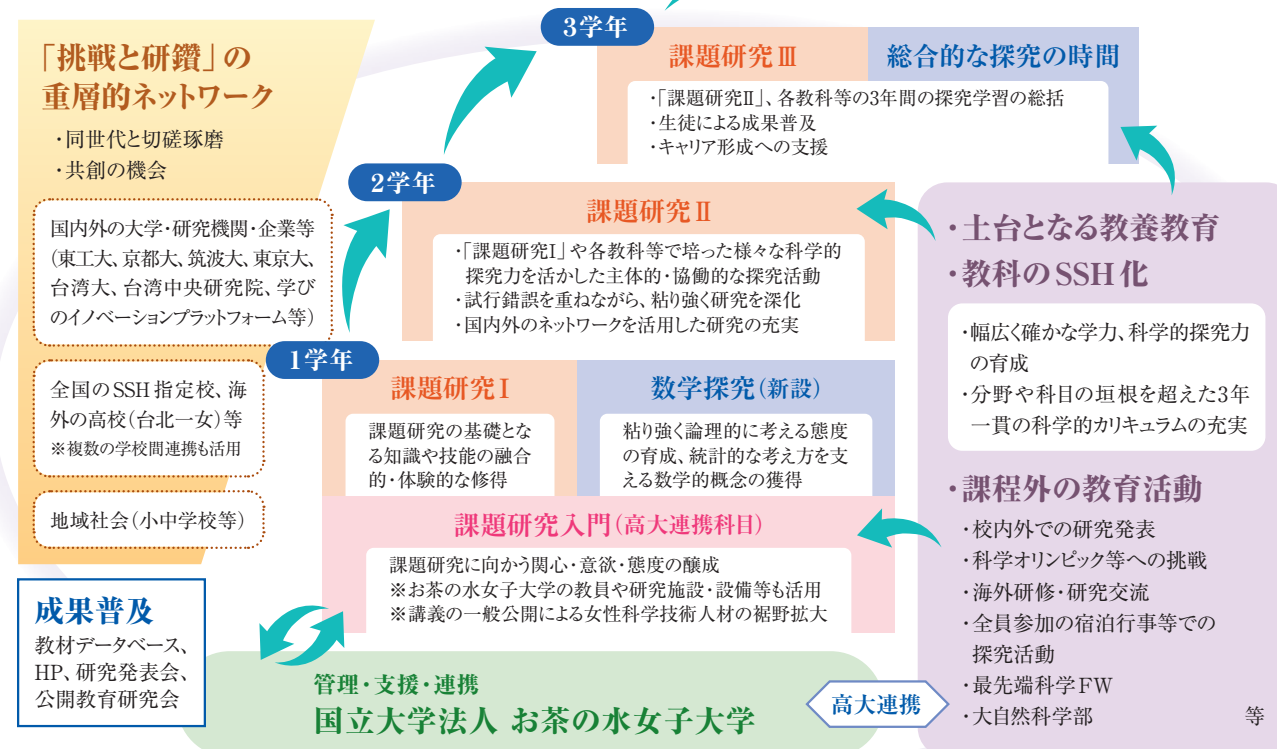
本校は2014(平成26)～2018(平成30)年度に文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、グローバル女性リーダーを育成するカリキュラム開発に取り組みしました。2019(平成31)年度からはSGHで培った生徒の課題発見力・解決力を養う教育課程や指導方法を活かしつつ、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)として新しい研究開発に取り組んでいます。より確かな科学的方法論による主体的・協働的な探究学習を通して、自然や社会の諸事象に広く関心を持ち、物事の本質的理解に努めながら、豊かな発想で諸課題の解決に挑む生徒を育成します。お茶の水女子大学や東京工業大学、筑波大学等の大学や研究機関、企業との連携を図り、優れた女性人材のロールモデルに触れることのできる環境を生かしながら、国際社会をリードする人材の輩出を目指しています。

国立大学法人お茶の水女子大学附属高等学校 SSH 第Ⅱ期

科学の力で未来を共創する女性リーダー育成カリキュラムの実践

- ✓ 理数系教育及び科学の視点を重視した課題研究の推進
- ✓ 「挑戦と研鑽」の重層的ネットワークの構築
- ✓ 教育実践の成果普及、女性科学技術人材の裾野拡大

卓越した能力を発揮する
突出人材の輩出



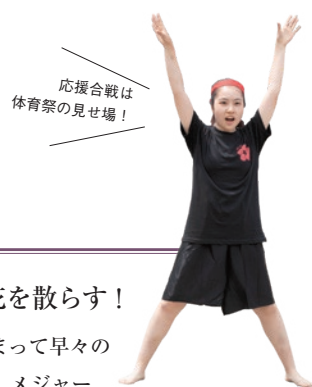
【3年修学旅行】



【体育祭】

蘭・菊・梅が火花を散らす！

体育祭は新年度が始まって早々のビッグイベントです。メジャーなものからユニークなものまで幅広い競技で構成されており、学年の壁を越えて交流の場を広げる機会にもなります。生徒自身だけでなく、観客も見ていて楽しめる活気に満ちた行事です。



【文化祭】

文化祭の経験は一生の宝！

お茶高三大行事の中でも文化祭は全校生徒一人ひとりが輝く、賑やかで盛大なイベントです。お茶高生の個性が集結し、2日間の文化祭を盛り上げます。クラスや部活ごとの企画、好きなことや特技を生かした発表など、各自の個性が光ります！0から100まで自分たちで創り上げる文化祭はきっと一生の宝物になるでしょう！！



【自治会選挙】



【自治会総会】



Event

年間行事

自分達で創り上げ、全校生徒が一丸となって盛り上げるさまざまな行事があります。

4

APRIL

- 入学式
- 1学期始業式
- 対面式
- 新入生オリエンテーション
- 防災訓練
- 3年修学旅行
- 自治会選挙
- 新入生歓迎会
- 春季健康診断

5

MAY

- 1年学年合宿
- 体育祭



6

JUNE

- 自治会総会
- 学校説明会
- 期末試験

7

JULY

- 第I期教育実習
- 1学期終業式



8

AUGUST

9

SEPTEMBER

- 2学期始業式
- 第II期教育実習
- 文化祭
- 学校説明会

10

OCTOBER

- 自治会選挙
- 秋季身体計測
- 中間試験
- ダンスコンクール
- 2年台湾研修



11

NOVEMBER

- 公開教育研究会

12

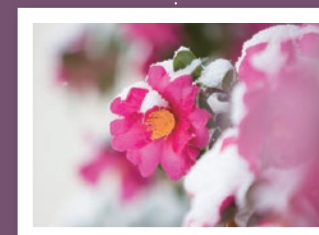
DECEMBER

- 期末試験
- 2学期終業式

1

JANUARY

- 3学期始業式



2

FEBRUARY

- 高校入学検定試験

3

MARCH

- 期末試験
- キャリアガイダンス
- 卒業生歓送会
- 卒業式
- 修了式

【1年合宿】

クラスや学年が一体となる3日間！！

入学して1か月ほどすると2泊3日で長野県の諏訪へ学年合宿に行きます。親睦を深める体験学習やグループ活動を通して、みるみるうちにクラスや学年が仲良くなっていきます。初めは不安だった高校入学の生徒もたくさんの人と話し、協力し合う機会が多いので、あっという間に友達ができ、打ち解けることができます！



【新入生オリエンテーション】



【部活動紹介】



【ダンスコンクール】

お茶高生ならではの思い出！

ダンスコンクールは70年以上の歴史があるお茶高ならではのイベント！個性豊かなお茶高生の内に秘めるパワーを最大限に発揮できる舞台です。曲決めから振り付け、衣装作りまですべて自分たちで行い、あまりの真剣度にクラス内でのぶつかり合いもしばしば。しかし、それを乗り越えてクラスがひとつになったときの達成感や喜びは何にも代えがたいものがあります。



【卒業式】



部活動

スポーツから音楽、伝統文化まで、部活動も生徒が主体的に取り組んでいます。

運動系



文化系



運動系

- 硬式テニス部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 中国武術部
- ダンス部

文化系

- 新聞部
- 大自然科学部
- 箏曲部
- 華道部
- 茶道部
- 吹奏楽部
- ミュージック愛好会(MAC)
- 合唱部
- 漫画研究会
- アフガン☆ボランティア部
- 書道部
- 競技かるた部

同好会

- 軽文学同好会
- クッキング同好会
- 総合芸術同好会
- クイズ研究同好会



※2024年1月現在

卒業生からのメッセージ

Messages from Graduates

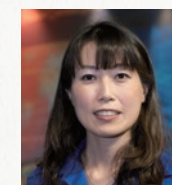


1958年卒

戸田 奈津子さん
映画字幕翻訳者

伝統が育む、チャレンジ精神

お茶高が輩出した卒業生たちは、日本はもとより、世界のあちこちで輝きを放っています。そう、2010年には宇宙にまで進出しました！その誇るべき現象が創立以来、一世紀以上続いているパワーの根源は？—— 個人レベルの力ではありません。目に見えない伝統が、生徒全員の個性を育て、自分の考えを貫く気風をはぐくみ、チャレンジ精神に火をつけているのです。あなたもその伝統の中に自分を置いて、価値ある人生に向かって、羽ばたいてください。

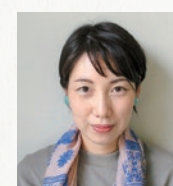


1989年卒

山崎 直子さん
宇宙飛行士

世界を広げてくれたお茶高時代

高校時代は私の世界を大きく広げてくれました。伝統があり、生徒の自主性を重んじる校風。ダンスコンクールなどのユニークな行事。友達と作ったジャズダンスサークル。それらを通じ、精一杯何かに取り組むことは素晴らしいことだという精神を培いました。宇宙飛行士の仕事をする上でも忍耐力や協調性が必要ですが、高校時代はその基礎を築く大事な期間でした。いつも温かく見守って下さった先生方、沢山の思い出を共有した同級生たちにとっても感謝しています。



2004年卒

今 佐和子さん
国土交通省

自分の芯を作ってくれたお茶高

お茶高3年間はとにかく楽しく、勉強も規範も強要されることなく、まさに「自主自律」。今思うと“人生かけてやりたいこと”を探すためのチャージ期間でした。大学で専門を変えたり転職したり…人生で舵を変えるトリガーは、いつもお茶高の友人達の活躍で、「私も好きなことを追求しよう！」と刺激を与えてくれます。今の職場は超「男社会」ですが、自分の主張もし、育児との両立で疲弊せずに、「やりたいこと」を追い求められているのは、お茶高が芯を作ってくれたからだと思っています。



2011年卒

平田 まりのさん
医師

先生も生徒もエネルギッシュ！

自由奔放、天真爛漫。先生も生徒もエネルギッシュな高校——それがお茶高です。朝も昼も放課後も走り回り、半分は部活で成り立っていたような高校生活でしたが、いつも後ろから温かく見守ってくれた先生方や素晴らしい仲間たちと出会うことができました。何事も受け入れてくれる度量があって、新たな挑戦を後押ししてくれるのがお茶高。自分自身を磨いていく心を忘れなければ、ここで過ごす3年間は、きっとあなたの未来を支える糧になるはずです。間違いない！

Q & A

お茶高をもっと
知りたいあなたへ



Q.1

始業時間が早いと
聞いていますが

▲ 本校の登校時刻は8:00。電車のラッシュがピークになる前の時間帯です。この時刻に時間的にも、体力的にも十分余裕をもって毎日登校してください。

Q.2

制服や体育着などは
指定されていますか

▲ 制服は指定されています。スカートとスラックスを自由に選択することができます。体育着に関しては特に指定はありませんが、運動しやすいものを着用してください。

Q.3

生活指導の基本方針に
ついて教えてください

▲ 生徒の自主性を尊重した生活指導を行っています。これは、「何をやってもよい」ということではなく、生徒一人ひとりが何をなすべきかをしっかりと考えて行動することを目的としています。

Q.4

クラス編成の基本的な方針は
どのようなものですか

▲ 附属中学からの入学者と高校からの入学者を約半数ずつで混合クラスにしています。2年進級時にのみクラス替えを行っています。

Q.5

カリキュラム編成の基本的な
方針はどのようなものですか

▲ 1・2年生では、クラス単位で全員必修のさまざまな科目を勉強します。3年生になると、幅広い選択科目の中から、生徒各自の興味関心・進路に合わせて選択します。

Q.6

お茶の水女子大学の施設は
利用できますか

▲ 大学図書館や大学生協など、大学構内にある施設を利用することができます。

Q.7

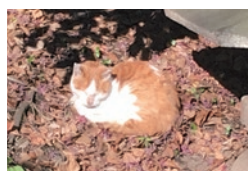
奨学金制度はありますか

▲ 本校独自の奨学金制度として、同窓会「作楽会」によるものと、教育後援会によるものがあります。いずれも給付型の奨学金です。

Q.8

お茶の水女子大学との連携は？

▲ 授業や進路指導を中心にいくつかの高大連携事業が行われています。1年生は、「課題研究入門」という科目で年10回程度、大学の先生の授業を全員が受講できます。また、毎年3月には、大学の先生によるキャリアガイダンスが行われます。2・3年生は放課後に公開されている大学の授業に参加することができます。「課題研究」では、大学の先生のアドバイスを受けることが可能です。



入試や進路に関する情報・学校説明会などの最新情報は、
本校Webサイトをご覧ください。



お茶高トリビア

お茶高生の大切な「守り神」 — 羅刹女像^{らせつにょざう} —

2階の自治会室の前に、凛として佇む一体の像が置かれています。正式な作品名は『羅刹女像』。「羅刹」とは仏教用語で鬼神のことを言い、「羅刹女」とはつまり女性の鬼神、「鬼女」のことを示します——鬼女などと聞くと、何とも恐ろしげなイメージを受けますが、男の羅刹は醜く、女は美しいとされるように、本校の像もその名称からは想像できないようなやさしげな姿をしています。

この作品は、上野の西郷隆盛像で有名な高村光雲の高弟・西村雅之の手に成る木彫りの像で、大正14年(1925年)に帝国美術院展覧会へ出品された大変貴重な美術品です。長い年月を経たことで、もともとの彩色は色褪せ、右手に携えていた刀剣も欠けてしまいましたが、今でも生徒たちには「プリンの神様」と呼ばれ親しまれ、昔と変わらずお茶高生の守り神のような存在として大切にされています。

